

事務事業評価調査書 (平成 25 年度)

No.	31			作成日	平成25年9月30日
総合計画	章	3	美しいまちづくり	年度	平成 24 年度事業
	項	1	地域資源を活かした観光の振興	課等名及びグループ名	企画観光課 観光商工グループ
	節	1	新たな観光・交流空間の形成	記入者 職氏名	主任 家田 貴啓

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	☐	☐	☒	☐

事務事業名	観光シャトルバス運行事業委託				
事業概要	対象	観光客及び町民			
	目的	常陸大子駅と袋田滝本間でシャトルバスを運行することにより、中心市街地および滝への誘客を図る。			
	実施内容	茨城交通に委託し、週末および祝日にシャトルバスを運行する。町は茨城交通が利用者から収受した運賃収入分を差し引いた運行費補助金を交付する。			

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名		一般会計	過疎計画	施策区分	産業の振興
	款	6	商工費		事業名 (施策名)	過疎地域自立促進特別事業
	項	1	商工費			
	目	3	観光費			
	事業名		観光費	根拠法令		

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

事業期間			開始			終了		
			平成	24	年度	平成	24	年度
年 度			財源内訳 (単位: 千円)					
			事業費 (決算・予算)	国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成	21	年度実績						
平成	22	年度実績						
平成	23	年度実績						
平成	24	年度実績	3,082					3,082
平成	25	年度当初	3,715					3,715

特定財源 の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
	24年度分					

IV 執行状況

執行状況	推進中	完了	新規
	☒	☐	☐

状況説明	町内を周遊する観光バスを運行していた23年度に比べ乗車人員が約3倍となった
------	---------------------------------------

V 問題点の概要

問題点	中心市街地および滝への誘客促進を図るためには、利用者をさらに増加させる必要がある。
-----	---

VI 成果指標

成果指標名	単位	24年度		25年度		26年度		27年度		対27年度 目標達成率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
シャトルバス乗車人数	人	2,534	2,000	-	3,000	-	3,500	-	4,000	63.4%
指標に表われない効果										

【事務事業の評価】

◎一次評価(担当課においての評価)

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか？ ○対象・意図を見直す余地はあるか？ ○町が実施又は関与すべき目的であるか？	☒ 妥当である ☐ どちらともいえない ☐ 妥当でない	観光客の利便性を担い、2次交通の役割を果たしている。
有効性	○成果向上の余地があるか？ ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか？ ○目標が達成されたか？	☒ 有効である ☐ どちらともいえない ☐ 有効でない	周遊バスからシャトルバスに変更したことにより、利用客が増加した。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か？ ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか？ ○他の事務事業との統合は可能か？	☒ 効率的である ☐ どちらともいえない ☐ 効率的でない	運行区間を利用頻度の高い常陸大子駅と袋田の滝間に設定し、効率性を上げている。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか？ ○負担者(納税者)の理解は得られているか？	☒ 公平である ☐ どちらともいえない ☐ 公平でない	乗客は主に観光客を想定しているが、町民も利用可能である。

Ⅱ 総合評価

今後の方向性	3	継続(実施方法, 実施主体等を変更する)								
※今後の方向性について, 次の項目から選択してください。 <table border="0"> <tr> <td>1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td>5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
【総合評価】※理由, 具体策及び今後の課題等を記入してください。 観光客誘客策のひとつとして運行車両をSLバスに変更し, さらなる利用者の増加を図る。										
【担当所属長意見】 東日本大震災に伴う原発事故以来町内への観光客の入込みが完全に戻らない中, 平成25年度上半期中の利用者は昨年をはるかに上回っている(9月末現在5,172人)。料金が無料のため, いろいろ意見はあるが中心市街地への観光入込客が増加し, 町中に賑わいが戻り経済効果が期待できるなど大局的に捉えるべきである。										

◎二次評価(事務事業評価委員会による評価)

今後の方向性	3	継続(実施方法, 実施主体等を変更する)								
※今後の方向性について, 次の項目から選択してください。 <table border="0"> <tr> <td>1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td>5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
【具体的内容】 実施方法変更後のPR活動を積極的に行うこと。また, アンケートによりコース別利用者数及び利用者の年齢層等について検証すること。										
【備考】										